

ひかり号

N700系・700系
東海道、山陽新幹線



デビュー：昭和39年
最高速度：285km/h
運行区間：東京～博多間

第132号

発行日：平成27年1月1日
発行者：福田脳神経外科病院
院内情報委員会
(☎0952-29-2223)



明けまして おめでとうございます



新年のご挨拶・抱負

院長：田口 明

2014年は青色LEDの開発に携わった日本人3人がノーベル賞を受賞する大変喜ばしい出来事がありました。LED照明の明るさは誰もが実生活で感じていることですが、STAP細胞をめぐる一連の混乱で日本の科学技術に対する信頼が揺らぎ、暗く沈んでいる中でのこの受賞は科学界のみならず日本全体を本当に明るくしてくれました。また医学、医療の分野ではiPS細胞(人工多能性幹細胞)を利用して世界初の治療、網膜上皮移植手術が行われたことが注目すべき出来事でした。移植を受けた患者さんの視界が明るくなることと、今後の医学、医療界にも明るい光が見えてくることを期待します。移植手術を手掛けた高橋政代リーダーが会見で述べた“今回の治療はライト兄弟が300mの飛行に成功したくらいのもので、20年後には誰もがハワイまで行けるような時代が来ると思います”という言葉が大変印象に残りました。また移植以外にiPS細胞を利用した創薬も始まり、あと4～5年後にはiPS新薬が登場するとのことで、本格的に再生医療が臨床の現場に近づき医療が新たな展開を見せてくることを感じます。

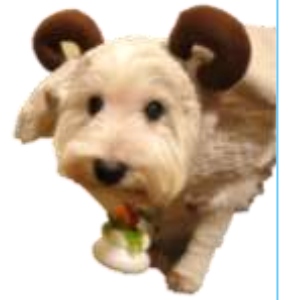
大震災から未だ復興途上のわが国ですが、昨年も火山噴火による災害や、大雨、大雪による気象災害で多くの尊い命が失われる残念な出来事がありました。天災と同様に病気も怪我も予測不可能なこともあります。やはり予防に勝るものはないと考えます。特に我々日々対応している脳卒中は癌と異なり“検査で早期発見”の前に“生活習慣を是正しての早期予防”が可能な疾患です。脳卒中にならないように“自らの体を自ら守る”の気持ちを持って日常生活習慣を見直してください。2015年も“気軽に相談できる医療機関”“たくさんの安心を提供できる医療機関”をモットーに職員一同で皆さんの健康管理の伴走役を務めさせていただきます。



開設者：福田 千恵子

新年 明けましておめでとうございます。

旧年中は多くの患者様に来院していただきました。脳ドックも
たくさんの方が受診されました。健康に対する意識の高まりを感じます。
今年も地域のみなさまのご健康を願ひまして、スタッフ一同親身なおつきあいを
させていただく所存でございます。



どうぞ皆様にとりまして佳き御年でありますようお祈り申し上げます。



看護部長兼外来師長：松永 智子

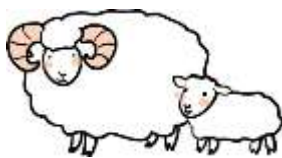
新年あけましておめでとうございます。

「患者に寄り添う医療・看護」を目指して、本年も田口院長と共に、優しい笑顔で看護に努めさせて
頂きたいと思ひます。

社会貢献・地域活動の一環として、活動させていただいております講演会も、今年で5年目を迎
えました。地域の皆様との、交流を毎回楽しみに活動させていただいておりますが、

昨年は「認知症の自己チェック」についてたくさんの方に聴講して頂きました。

「なかなか病院に相談しにくい」「このくらいで病院に罹っていいのか」とたくさんのご質問やご相
談をお受けしておりますが、不安感を安心感に変えるためのお手伝いが出来れば幸いです。



どうぞ、お気軽に、病院にご相談下さい。

本年もよろしくお願ひいたします。



病棟師長：古賀 直美

新年明けましておめでとうございます。

本年も看護部の理念である「やさしく・思いやりに満ちたケア」を提供させていただけるよう
努力していきたいと思ひます。

患者様、家族様の思ひに耳を傾け、少しでも安心して治療を受けられるような環境・看護を提
供し、スタッフとともにさらに質の高い看護を目指して日々研鑽していきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



薬剤師：M. T.

新年 明けましておめでとうございます。

7月からこちらの病院にお世話になり、無事新年を迎えることができました。

それも今年は年女！！スタッフみなさんの温かい見守りの中、何とか業務をこなせるようになってきましたが、まだまだ余裕のない状態です。みなさんに頼っていただけるよう頑張っていきたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。



受付事務：N. M.

あけましておめでとうございます。

今年、年女ということで、もともと不器用な私ですので、まずは今やるべきことを一生懸命に取り組み、更に新しいことにも挑戦できたらと思っています。自分ができる事を少しずつ増やしていける一年にしたいです。



受付事務：S. H.

新年 あけましておめでとうございます。

昨年11月よりお世話になっております。日々が勉強で、まだまだ先輩方の手を取ってしまうことばかりですが、一日でも早く“安心して任せられる職員”になれるよう精進していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



本年も宜しく願いいたします



研修会参加報告 ～チーム医療とは何ですか？何ができると良いですか？～

エビデンスに基づいたチームトレーニングを学ぶ

病棟看護師：S. K.

演習を通して、人間は集中していると見たくないものは認知せず、見たいものしか見えなくなるという体験をしました。スタッフ全員で関わり、情報を共有し声を上げて危険発信など出来る関係・環境を作る必要があると感じました。



チーム医療の中では、必ず中心には患者さんがいて、そのご家族、医師はもちろん、取り巻く全てのパラメディカルスタッフは誰ひとりとして欠けてはならず、お互いが情報共有していく事が必須だと再確認できました。

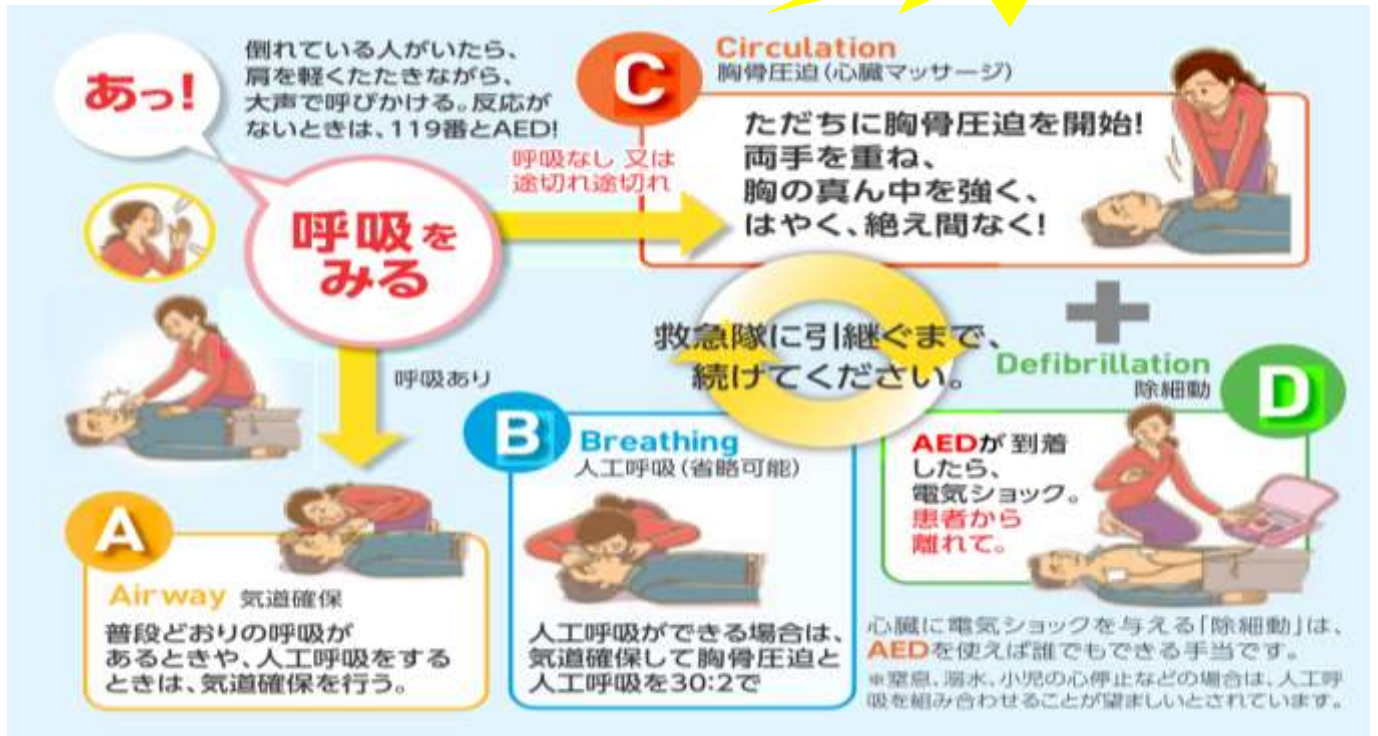
個々人のスキルを上げ『エキスパートなチーム』を作ることができると、より安全でより良い医療の提供につながるのではないかと思います。この研修に参加させていただけてよかったです。

AED勉強会ありました



大切な人が突然倒れてしまったら・・・
偶然事故の現場に居合わせたら・・・

救急車がくるまでの間に
あなたにも出来る事があります！



当院の AED 設置場所はココ!!!
受付窓口です。(向かって右側です)



講習風景



講習を受けての感想

実際にDVDを見ながら心臓マッサージを行ってみると、テンポが速く、1分間続けることがとても大変なことだと実感しました。

また、AED を使用したり、心臓マッサージを行ったりすることで多くの命を助けることができると改めて学びました。

看護師 A. M.

私は実際に AED の体験をしたことがありませんでした。講習を受けてみて、心臓マッサージでは胸の中心を思った以上に強く押す必要があり、1分間に100回も圧迫しなければならない事を学びました。また、AEDのスイッチを入れると音声で指示を出してくれるなど扱いやすくなっていることを知りました。

周りで誰かが倒れるなどの状況になった時に素早く行動できるよう、心がけたいです。

看護助手 E. Y.

元旦のおせち料理をご紹介します。

- えびの姿煮
- 魚の照梅煮
- 八幡巻き
- 菊花かぶ
- 栗きんとん
- 黒豆
- だて巻き
- 含め煮
- 二色寒天
- 紅白かまぼこ

